

第 29 回国際地図学会議(ICC2019)の概要とご協力をお願い

2019 年 7 月に東京で開催する第 29 回国際地図学会議 (ICC2019) は、国際地図学協会が 2 年 (総会は 4 年) ごとに開催する国際会議であり、1962 年の第 1 回から当会議で 29 回目を迎える地図学分野では最も歴史と権威のある国際会議です。この会議の日本での開催は、1980 年の第 6 回の東京大会以来、39 年ぶり 2 回目となります。

この会議を日本で開催することは、前回日本で開催された 1980 年以降のデジタル化にともなう地図の先進的な利用方法と、それにとともなう理論的發展を全世界の研究者に大きくアピールすることになります。併せて国内の多方面の関係分野の研究者の参画を促して交流を図る絶好の機会となり、我が国の地図学に関する研究を一層發展させる契機となることが期待されます。

この度の ICC2019 では、「地図づくりを、誰にもどんな事にも！」をメインテーマにして、地図学の様々なジャンルにまたがる研究発表と討論、ワークショップや見学会、および地図作品や機器の展示が行われることとなっています。会期中には、国際地図展、および国際子ども地図展が併催される予定で、専門分野のみならず広く一般市民も、最先端の地図の表現技術や諸外国の地図文化に接することができます。

また、地図学に関するアウトリーチ活動として市民公開講座を予定しており、「地図とアート」、「地図の日本文化」、「外国人に分かる地図」、「最新のデジタル地図を使う」などのテーマで開催されることになっています。

メイン会場となる日本科学未来館は、ジオコスモスをはじめとする地図関連の常設展示が行われており、これまでも G 空間 EXPO の会場となるなど、地図・地理空間情報の先端的な学術と技術を紹介するのに最適な場所といえます。

つきましては、ICC2019 の趣旨をご理解頂き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

第 29 回国際地図学会議組織委員会委員長
日本地図学会会長
森田 喬

ICC2019 東京大会の開催概要

会議の名称とテーマ

第 29 回国際地図学会議 「地図づくりを、誰にもどんな事にも！」

主催・共催機関

主催 ICA 日本国内委員会

共催 日本学会議

後援 (予定を含む) (一社) 地理情報システム学会, (公社) 東京地学協会, 日本地図学会, (公社) 日本地理学会, (公社) 東京地学協会, 国土地理院, 海上保安庁海洋情報部, など

開催期間 2019 年 7 月 15 日 (月) ~ 20 日 (土)

開催場所

日本科学未来館 (〒135-0064 東京都江東区青海 2 丁目 3-6)
東京国際交流館プラザ平成 (〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1)
など

主催責任者 第 29 回国際地図学会議組織委員会

委員長 森田 喬 (法政大学名誉教授)

事務局 〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル 8 階

株式会社 アイ・エス・エス 営業統括部 コンベンショングループ内

E-mail: icc2019@issjp.com

参加予定国・人数

世界約 50 カ国・地域より 600 名、国内 500 名を合わせて合計 1,100 名を予定

会議スケジュール

	7月14日(日)	7月15日(月)	7月16日(火)	7月17日(水)	7月18日(木)	7月19日(金)	7月20日(土)
午前	専門部会, ワークショップ	総会 (Part 1-1) 専門部会, ワークショップ	基調講演 1 地図展示	基調講演 2 セッション ポスター発表 地図展示	基調講演 3 セッション ポスター発表 地図展示	基調講演 4 セッション ポスター発表 地図展示	セッション 総会 (Part 2)
午後	専門部会, ワークショップ	総会 (Part 1-2) 専門部会, ワークショップ	セッション ポスター発表 地図展示	セッション ポスター発表 地図展示	セッション ポスター発表 地図展示	セッション ポスター発表 地図展示	閉会式
夕方		開会式	レセプション	若手交流会		懇親会	

会議の主要テーマ

T01	芸術と地図学	T22	センサー・マッピング
T02	アトラス	T23	地形図作成
T03	地図遺産のデジタル化	T24	地名学
T04	地図学と子ども	T25	ユビキタス・マッピング
T05	早期警戒・危機管理における地図学	T26	利用、利用者、使いやすさ
T06	地理情報可視化における認知の問題	T27	画像解析
T07	教育・訓練	T28	海洋地図
T08	総描と多様な表現	T29	デジタルヒューマニティーズとGIS
T09	地理空間解析とモデル化	T30	GIS と地図学
T10	持続性のための地理空間情報	T31	地理的プロセスの視覚化と分析
T11	地図学史	T32	都市を地図化する
T12	位置情報サービス (LBS)	T33	デザインと視覚変数：ベルタン再考
T13	地図のデザイン	T34	Geo-for-All オープンソースGIS 教育
T14	地図作成と地理情報管理	T35	クラウドソース地理空間情報再考
T15	地図投影法	T36	日本地図史
T16	視覚障害者のための地図と表現	T37	SDG のための地図
T17	地図とインターネット	T38	環境地図
T18	山岳地図学	T39	理論地図学
T19	オープンソースの地理空間技術	T40	Ai, ロボット工学, 自動運転車
T20	惑星地図学	T41	ゲームと地図
T21	空間データ基盤と標準	T42	ビッグデータとデータサイエンス

基調講演

- Venkatesh Raghavan 氏 (大阪市立大教授, OSGeo 財団日本支部理事)
- Steve Coast 氏 (オープンストリートマップ創始者)
- Eric Gundersen 氏 (Mapbox 社 CEO)
- 加川文子氏 (国際連合地理空間情報課主任)

テクニカルツアー (予定)

- 国土地理院, JAXA, 古河歴史博物館, 国立国会図書館, 海洋情報資料館, 森ビル (都市模型) など

その他の行事

- 国際地図展：世界各国から選りすぐりの地図を展示します。
- バーバラ・ペチェニク子ども地図展：世界の子どもが描いた地図を展示します。
- オリエンテーリング：ICC 恒例のオリエンテーリング競技を開催します。

おもな日程

- 2018年12月5日 フルペーパー投稿締切=> 2018年12月12日に変更
- 2018年12月19日 発表要旨投稿締切 => 2019年1月8日に変更
- 2019年4月3日 参加登録早期割引締切

ウェブサイト <http://www.icc2019.org/>